

# がん看護におけるケアリングの研究

【キーワード：ケアリング、がん看護、効果】

## 領域・氏名

看護（老年看護学）教授／ 重久加代子

## 概要

質の高いがん看護を提供するためには、ケアリング能力を高め、がん看護のケアリングを実践する必要があります。そのため、がん看護のケアリングとは何か、その効果とは何か、について研究しています。

## 具体的な内容

これまで、ケアリング行動の実践を促進するために、「ケアリング行動質問紙」を作成し、ケアリング行動の実践と関連する要因を探索してきました。その結果、ケアリング行動の実践と看護実践力、看護へ姿勢、自己充實的達積動機が関連していることを明らかにしました。その後、対象者をがんサバイバーに広げ、質的研究、量的研究により、がん看護に重要なケアリングを抽出し、その妥当性を高める研究を行っています。また、治療を受けるために入院しているがん患者を対象に、がん患者の「能動的実践的態度」に影響するケアリングについて研究しています。今後は、がん看護のケアリングを明確にし、ケアリングの成果の検証やケアリング能力を高めるための教育の研究に取り組んでいきたいと考えています。

## Information（情報）

ケアリング、エンドオブライフケア、高齢者の看護、認知症の予防などに関するテーマでの出前講義が可能です。